

【GIGA×指導の工夫・改善】 自分の表現を工夫する、表現をよりよくするための振り返りの活用

＜考察＞

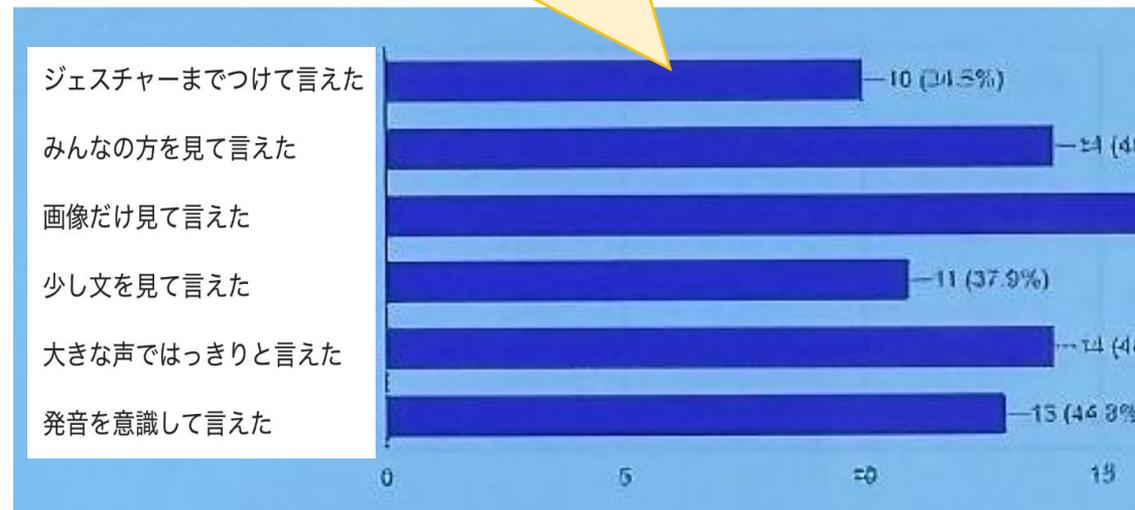
6年 外国語 単元「Unit 7 My Best Memory」では、単元の学習の後半に、小学校生活の一番の思い出を伝え合う。自分の表現を工夫したり、よりよくしたりすることを目的に、めあてを確認する場面と授業の振り返りをする場面で、Google フォームを活用した。

めあての確認では、前時までの振り返りをグラフで提示し、スピーチの仕方のポイントを伝え、本時の活動に見通しをもたせた。また、前時の振り返りから、児童の記述を取り上げて、本時の活動で自分の表現をよりよくしていくことを確認した。

授業のおわりに、Google フォームのアンケートに振り返りを入力した。選択肢の箇所を集約してグラフで提示することで、児童の理解度や達成度を可視化することができた。これを基に、児童は自分の学びを確認することができ、教師は、達成度の低いところを次時にどう扱っていくとよいかを考えることができる。

自由記述の箇所から、児童の気づきや感想を基に、学級全体でさらに使える表現を共有して、英語での表現の幅を広げることができた。教師は、児童の記述から児童の実態をつかみ、授業の形成的評価のツールとして、次時の授業につなげることに活用している。

グラフを提示して、
理解度や達成度を確認する



自由記述 次回、意識して頑張りたいところ、付け加えたい表現は何ですか。（自由記述）

- ・ もっと過去形の英語を知りたい
- ・ 感想を全部の文章に入れたい。

児童

自由記述→表現の工夫へ

教師

授業の形成的評価